

29. 草花畧画式【そうかりゃくがしき】(外)

(刊) 大本一巻一冊
文化十年(1813)十月刊

(江戸) **蕙**斎【けいさい】筆

江戸 須原屋市兵衛【すはらや・いちべえ】板

江戸 同 善五郎【ぜんごろう】板

江戸 鶴屋金助【つるや・きんすけ】板

江戸 竹川藤兵衛【たけかわ・とうべえ】板

彩色板



見返しは藍刷りで「**蕙**斎先生筆／(角書)草花 畧画式」とあり、文化十年岸本由豆流の和文序がある。福寿草に始まり、水仙まで五十二の大图と三十一種の小図を収め、草花の絵手本として見事な出来栄を示すと共に、一種の植物図鑑の役目も果たしている。背景を薄墨でつぶした上で、雪の下、藤袴や白菊など白い花を持つ草花を浮き立たせるという画題に応じた趣向も面白い。「草花の一つひとつが人物略画と同じく皆、背を反らせ、くねらせている所が、いかにも**蕙**斎風である」という先人の評が思い出される。